

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

R2 年度

法人名	有限会社おいらーく	代表者	星野 二三江	法人・事業所の特徴	えくぼ東雁来は、本体とサテライトの機能を持ち、併設している住宅型有料老人ホームの入居者様が主体となっている。地域からの通い、訪問、泊まりの利用もあります。通いと泊まりを中心とした特養待機者の方の受け入れもしているが、現在はほとまりの利用者様はいない。医療法人豊生会のグループとして医療ニーズの高い方の対応やお看取り迄、幅広いニーズへの対応をクリニックや病院とも連携しながら、安心して暮らしていただけるよう24時間体制で実施している。又職員への福利厚生や独自の研修制度にも力を入れ、働きやすい職場を目指している。
事業所名	えくぼ東雁来/サテライトえくぼ東雁来	管理者	白鳥 たか子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	1人	人	人	1人	0人	3人	0人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価については、サービス向上委員会が中心となって実施していく。改善点を分かりやすく見える化していく。	自己評価については、常勤、非常勤皆の協力体制で実施。サービス向上委員も積極的に関わる。改善点に焦点を当てて取り組む。	事業所全体で取り組んでいるように思う。改善点の可視化が課題のよう。	自己評価については、今後もサービス向上委員会のメンバーが中心になり出来ていない所を文章にして情報共有に勤め、取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所の行事、8周年記念のお祭り等に参加して頂く。年に何度か地域の方と交流の場を作ります。	8周年のお祭りや、公園でのお祭りに参加し、交流の場を設けた。しかし、高齢者がほとんどいなく子供だけだった。	ご家族様の飛び込みで来所され、入所に繋がっている。気軽に入れる環境にしてほしい。	地域の方が気軽に入りやすいような環境づくりをする。パンフレットの置き方や掲示板に工夫する。(住宅と連携する)
C. 事業所と地域のかかわり	近隣中学校へのアプローチを積極的に行う。札苗地区(町づくりセンター)へ伺い参加可能なイベントへ参加。	緑小からの施設見学が例年通り行われている。住宅の方との交流も少しずつ実施されている。町づくりセンターへの実施は出来ていない。	近隣の小学校とのつながりが無かった。地域との関わりがあるのかないのか分からない。	町内会のお祭りに参加や、小学校の施設見学の実施等を引き続き継続。住宅も地域に入る為、一緒に行事を楽しむ。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	同じ町内会のお祭り等に参加し、地域交流を積極的に行う。子供たちが来やすい事業所になるように七夕行事にも参加したい。	地域のお祭りにも参加した。七夕行事では、地域の子供達が施設の中に入ってきてくれて、言葉を交わし交流してくれた。	外出の機会が少ない為、地域交流を兼ねて出来たらよい。近くのお店等買い物に出かけては？	公園などに散歩に行き、地域の方との交流が出来ればと思う。普段の生活の延長として考えて行きたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み	町内会のお手伝いが出来るよう、情報交換の場にしていきたい。	町内会のお手伝いはできていないが、地域の方の入所があり、情報共有から利用に繋がった経緯もある。	町内会のお手伝いで何が出来るのか分からない。地域貢献として、住宅の周りにお花を植えてはどうか？	地域の実情の把握。困っている人の情報収集に努め、支援の可否を考える。お花を植え、目で楽しんでもらう。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>年2回以上の避難訓練の実施から、運営推進会議の方々や町内の方々と一緒に実施していく。防災グッズの準備と点検。</p>	<p>避難訓練は、年2回は実施。防災に関しても、随時準備している。避難訓練を運営推進会議の時に出来なかった。</p>	<p>避難訓練の実施や防災に関する実情が分からない。</p>	<p>避難訓練の実施。防災グッズの準備も着々と進んでいる。運営推進会議に避難訓練を一緒に実施。防災に関しても、写真等で伝える。</p>
----------------------------	---	--	--------------------------------	---